

# 【大学推薦 University Recommendation】

奨学金等名称 Name of Foundation (or Name of Scholarship)					
<b>岩城留学生奨学会</b> <b>Iwaki Scholarship Foundation</b>					
募集人数 Number of Openings			前年度実績 Previous Year's Record		
全体 Total	通知なし No information		推薦 Recommended	1	
本学 For Chiba Univ.	2		採用数 Admitted	1	
	うち 学部生 Undergraduates	うち 大学院生 Graduates			うち 研究生・専攻生 Research Student
	-	2	-		
学部・研究科 Department	2022年11月現在大学院に在学中、または2023年4月に大学院への入学が決定した者。 Applicant must belong to Graduate School as of November 2022, or must enter to Graduate School as of April 2023.		研究分野 Research Field	大学院医学薬学府 医学領域または薬学領域 Graduate School of Medical and Pharmaceutical Sciences	
主な 応募資格 Some of Eligibility Requirements	1) 学業、人物ともに優秀で、真に経済的援助を必要とする者 2) 他の奨学金を受けていない者 3) 交流活動や研究報告に支障のない日本語能力がある者 <b>Japanese skills required</b>				
特記事項 Note	別記又は留学生課ホームページに掲載の「奨学金応募に関する諸注意」を必ず確認して下さい。 <b>2022年度後期までに私費外国人留学生を対象とした「奨学申請者登録」を行った者が申請できます。</b>		国籍 Nationality	アジア諸国 Asian countries	
支給金額(月額) Amount	月額10万円 ¥100,000/month		支給期間 Duration (year/month)	始 From	2023/4
				至 To	2025/3
				年数 Year(s)	2
募集期間 Application Period (year/month/day)			推薦者の発表日(予定) Candidate Selection Result will be announced on (year/month/day)		
始 From	2022/11/4		2022/11/24		
至 To	2022/11/21				
応募書類受付窓口 Offices to Submit Your Application Documents					
西千葉キャンパス：学務部留学生課(総合学生支援センター2階) 亥鼻キャンパス：ISD亥鼻キャンパスブランチ(医薬系総合研究棟Ⅱ1階)			Nishi-Chiba Campus : International Student Division (Integrated Student Support Center, 2F) Inohana Campus : ISD Inohana Branch (Medical and Pharmaceutical Science Building II)		
推薦者の応募書類提出期限 Application Document must be submitted by (For Candidate only) (year/month/day)					
2022/12/16					
財団による選考(又は面接実施)の通知時期 Selection Result (or Interview) by the Foundation will be announced in (year/month)			2023/2		

揭示日：2022/11/4

令和 5 年度（2023 年度）

私費外国人留学生奨学生募集について

平素は当財団に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
標記の件、別添の当財団「奨学金支給規程」に則り、令和 5 年度（2023 年度）の奨学生募集を行いますので、下記の事項にご留意の上、所定の様式をご利用いただき、令和 4 年 12 月 25 日までにご推薦願います。

なお、貴大学のご推薦のもとに、当財団「選考審査委員会」に諮った上、令和 5 年 2 月末頃までに採用者の内定を行う予定です。

記

1. 学内の選考に当たりましては書類によるほか、是非とも面接を行っていただき留学生活上経済支援を必要とし、人物、学業とも優秀な学生のご推薦をお願いいたします。
2. ご推薦は 1 名とさせていただきます。
3. 奨学生募集の要約（詳細は「奨学金支給規程」をご参照ください）
  - (1) 応募資格
    - ① アジア諸国の出身者であること。
    - ② 令和 4 年 11 月 1 日現在大学院に在学中、または令和 5 年 4 月 1 日に大学院に入学決定の外国人留学生で、留学生活上経済的援助を必要とすると認められ、学業成績が優秀な者。
    - ③ 医学、薬学、化学等の勉学、研究のため留学中の者。
    - ④ 日本語でのコミュニケーションがとれる者。
    - ⑤ 他から奨学金支給を受けていない者。
  - (2) 提出書類
    - ① 奨学金支給規程 第 6 条 (1) ～ (4) の申請書類
    - ② 調査票及び研究報告書注) 申請書、調査票、研究報告書は、必ず手書きで記載すること
  - (3) 選考審査  
書類選考：1 月下旬、 面接選考：2 月上旬
  - (4) 奨学金
    - ① 支給額 月額 10 万円
    - ② 支給期間 令和 5 年 4 月～令和 7 年 3 月（2 年間）

# 奨学金支給規程

## (奨学生の資格)

第1条 本会奨学金の支給を受ける者は、次に掲げるいずれかの資格を有しなければならない。  
ただし、日本政府（自治体を含む）または他の財団等からの奨学金の支給を受けている者は除く。

- (1) アジア諸国の出身者であって、日本国の大学院において学生、または研究生として医学、薬学、化学等の勉学、研究のため留学中の者。
- (2) アジア諸国の出身者であって、医学、薬学、化学等の勉学、研究のため日本国内の大学院に留学を希望し、日本国に入国できることが可能な者。

## (奨学金の支給金額)

第2条 奨学金の額は月額10万円とする。

## (奨学金の支給期間)

第3条 奨学金を支給する期間は原則として2ヶ年とする。

## (奨学金の交付)

第4条 奨学金は原則毎月一定の日に、直接本人に交付する。ただし、諸事情を考慮し、2ヶ月または3ヶ月に一度の交付とすることができる。

## (支給金額の変更)

第5条 受給者に特別な事情が生じたときは、支給金額を変更することができる。

## (応募手続き)

第6条 奨学金の受給を希望する者は、次の書類を本会理事長に提出しなければならない。

- (1) 奨学金受給申請書
- (2) 指導教授の推薦書
- (3) 日本国の大学院の成績証明書又は入学許可書
- (4) 在留カードの表および裏面の写し
- (5) その他必要とする書類

## (奨学生の決定)

第7条 奨学生は、前条の出願者の中から選考審査委員会を経て、翌年3月中旬までに本会の理事長が決定する。

## (奨学生の義務)

第8条 (1) 奨学生は休学、復学、転学又は退学したとき、3ヶ月以上欠席したとき、又は身分、

住所その他重要事項に異動があったときは遅滞なくその旨を本会に届けなければならない。

- (2) 奨学生は本会に出向くように要請があったときは、特別な事由がない場合これに応じなければならない。
- (3) 奨学生は毎年 10 月に学習報告書を本会に提出し、本会の主催する研究発表会に出席しなければならない。報告書記載方法は別に定める。

(奨学金の休止、停止及び期間の短縮)

- 第 9 条 (1) 奨学生が休学し、又は 3 ヶ月以上欠席したときは、奨学金の支給を休止又は支給期間を短縮することができる。
- (2) 学業又は性行等の状況により、奨学生としての適性を欠くと認められたときは奨学金の支給を停止することができる。

(奨学金の復活)

- 第 10 条 前条(1)項により奨学金の支給を休止又は期間を短縮された者について、その事由が止んだと認められたときは、奨学金の支給を復活することができる。

(奨学金の廃止)

- 第 11 条 奨学生が次の(1)から(5)までのいずれかに該当すると認められたときは奨学金の支給を廃止することができる。
- (1) 本会への提出書類の記載事項に虚偽が発見されたとき。
  - (2) 大学において懲戒処分を受け、又は成業の見込みがないと判断されたとき。
  - (3) 退学したとき。
  - (4) 第 8 条の履行を故意に怠ったとき。
  - (5) その他奨学生としての資格を失ったとき。

(転 学)

- 第 12 条 奨学生が転学したときは、特別な事情があると認められる場合を除き、奨学金を辞退したものと見なす。

(奨学金の返納)

- 第 13 条 奨学金の交付の前後において、第 9 条又は第 11 条の事由が生じていたことが判明した場合は、既に交付した奨学金の全部又は一部を返納させることができる。

## 附 則

(施行)

- この規程は、平成 22 年 11 月 1 日から施行するものとする。